

第1回 大和郡山市学校規模適正化等審議会会議録

1. 開催日時・場所

(日 時) 令和2年11月10日(火) 午後2時～
(場 所) 市議会第1委員会室

2. 出席者

(委員) 恒岡委員、福田委員、田中委員、河野委員、中尾委員、
八木委員

(大和郡山市教育委員会事務局) 谷垣教育長、奥村部長、澁谷課長
(教育総務課) 松仲課長、谷口補佐

3. 資料

(別添参照)

開会	教育長挨拶
紹介	審議会委員及び事務局の紹介
会長等選出	会長・副会長選出
会長	<p>それでは、一言ご挨拶申し上げます。</p> <p>ただいま委員の皆様にご承認いただきました。もとより微力ではございますが、市の学校の将来像の方向性、あるいは計画性を示していくという重要な責務を担っている審議会でもございます。その運営をつかさどるといふことで、甚だ重責ということを実感しておりますが、委員の皆様方のご理解とご協力でその務めを果たしてまいりたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、座って失礼いたします。</p> <p>初めに、傍聴についてですが、本日9名の方より申出がございました。傍聴につきまして許可してよろしいでしょうか。お諮り申し上げます。</p>
全委員	異議なし。
会長	<p>それでは、ご異議ございませんので、傍聴を許可いたします。傍聴の方に入室していただいでください。</p> <p>(傍聴者入室)</p>

<p>会長</p>	<p>それでは、会議のほうを始めさせていただきます。</p> <p>本日は、お二人欠席と伺っております。市の学校規模適正化等審議会条例第6条の会議の開催要件といたしまして、過半数の出席を満たしておりますので、本日の会議は成立しますということを宣言させていただきます。</p> <p>それでは、案件に入ります前に、本審議会のこれまでの経緯につきまして、新しい委員の皆様もおいでですので、事務局より説明をよろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>失礼いたします。</p> <p>本審議会のこれまでの経緯についてご説明させていただきます。</p> <p>本審議会は、平成30年6月、教育委員会より学校の適正規模・適正配置についての基本的な考え方についての諮問を受け、約2年間にわたり計9回審議会を開催し、今年の2月に教育委員会へ答申を行いました。</p> <p>答申については、お配りしました資料、答申の概要をご覧ください。内容としましては、2番. 学校規模の適正化の基本的な考え方、3番. 学校配置の適正化の基本的な考え方及び、4番. 適正化に伴い留意すべき事項としまして4点提言を行いました。その後、この答申については定例教育委員会及び市議会にて報告させていただき、市のホームページにて公表させていただいたところでございます。</p> <p>今回の令和2年度第1回の審議会につきましては、審議会条例の第2条第2項にあります学校の将来構想に関することに基づき、将来の学校配置についての基本計画の策定を見据えた教育委員会の今後の進め方について、幅広くご意見を伺うべく開催させていただくものでございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>A4用紙1枚の概要という形で、第1段階というのでしょうか、答申についての概要を簡単に説明していただきました。それを踏まえまして、第2段階といいましょうか、令和2年度の本日の審議会を開催した運びでございます。委員の皆様には、本日の三つ目の案件であります今後の進め方についても併せて事務局より説明をいただいて、あとは意見交換というふうにしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>事務局のほう、今後の進め方についての説明をお願いできるでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今後の進め方についてでございますが、教育委員会としましては、今後、基本計画の策定に向け、このA4の答申の概要にあります「3. 学校配置の適正化に関する基本的な考え方」にあります通学区域の変</p>

	<p>更や学校の統合、そして、「4. 適正化に伴い留意すべき事項」の中小一貫校等の導入などについて先進地の視察などを行い、調査研究に取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>また、調査研究の内容につきましては、必要に応じて審議会にて報告し、意見をいただけたらと考えております。</p> <p>以上でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。具体像はまだ示されておりませんが、本審議会が今後目指すものとしては、今事務局から説明がありましたように、第2段階として基本計画の策定という目標に向かって、通学区域の変更であるとか学校の統合等々につきまして調査研究を進めていきたいという方向性が述べられました。委員の皆様方におかれましては、今後、教育委員会が中心となって基本計画というものを策定していくに当たりまして、この学校規模、学校配置の適正化についての様々なお考え、ご意見をお持ちだろうと思しますので、内容は問いませんので、委員の皆様の色々な角度から自由に活発なご意見をお願いできたらと思います。いかがでしょうか。</p>
B委員	<p>いろいろとご苦労さまです。</p> <p>今後、調査研究を進めていかれるということを先ほどお伺いしましたが、どういう体制で調査研究を進めていかれるのか、計画等がございましたら教えていただけたらと思います。</p>
事務局	<p>具体的な体制につきましては、まだ事務局のほうでもこれからということで、検討していく必要はあるかと思いますが、例えばですが、教育委員会内でのワーキンググループみたいなものを立ち上げて調査研究を進めていければと考えております。</p> <p>以上でございます。</p>
会長	<p>調査研究については教育委員会内ということですね。</p> <p>B委員、いかがでしょうか。</p>
B委員	<p>教育委員会の事務局、大変色々な多岐にわたって多忙な中ですが、十分な研究がなされますように組織づくりのほうをお願いしたいと思しますし、もし学校現場のほうで協力ができることがあれば申しつけていただけたらと思います。</p>
会長	<p>主に教育総務課、あるいは学校教育課のスタッフが中心になろうかと思しますが、現場にも優れた先生方、現場の実態をご承知の先生方がたくさんおられるということで、先ほどワーキンググループという</p>

	<p>ような名前も出ましたが、そういったところにも現場の先生の参画といったものもご検討いただいたらということでご意見いただいておりますので、ご検討ください。</p> <p>今、調査体制はどうなっていくのかというようなご質問でございましたので、それについて、今、青写真段階の話ですが、お聞かせいただきました。</p> <p>ほかにいかがでしょうか。</p>
A 委員	<p>2点ほどお聞きしますが、まずこの基本計画作成、これからということですが、目処というのはいつぐらいを想定されているのか。その辺もこれからということですか。</p>
事務局	<p>目処につきましては、調査研究していく中で求めていきたいと考えておりますので、具体的に何年という形では考えておりません。今後検討していきたいと考えております。</p>
A 委員	<p>これから進める中で決めていかれるということですが、この審議会そのものの開催についても年何回行うとか、何か月に一回行うとかという目標設定を立てるのではなくて、調査研究を進めていく中で必要であれば開催するという意向がこちらに伝えられるということで理解していいですか。</p>
事務局	<p>先ほども言いましたようにワーキンググループというのを立ち上げますので、その中で調査研究していき、その中で必要があれば報告させていただきます、またご意見いただくという形で進めていきたいと思っております。必要に応じてというふうに考えております。</p>
A 委員	<p>それと、第1期審議会で答申を作成されるに当たって校長先生方、また保護者の方等のアンケート等も取られているとお聞きをしていますが、それらの中で出た意見、そういったものも踏まえて調査研究をさらに進めていかれるのか、全く白紙にしてまたスタートするのか、そのあたりはどうですか。</p>
事務局	<p>もちろんアンケートの部分につきましても答申の中に含ませていただいておりますので、そこも踏まえてという形で検討させていただきます。以上でございます。</p>
A 委員	<p>第1期審議会の答申を受けてということで、これから色々具体的な調査に入られると思いますが、大変重要な案件だと理解をしております。子どもの人数が少なくなったからすぐ統合したらいい、廃校した</p>

	<p>らいいという簡単な問題では当然ないと思いますし、地域性、今でも色々我々の耳には校区の見直し等検討してもらいたいというのが日々伝わってくるような、そういう状況でもございますので、急がずに、より具体的に調査研究を推し進めながら、また我々の意見もしっかりと受け止めていただきながら今後進めていただきたいことを要望しておきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>ただいまこの基本計画策定についての目処についてのご質問がございました。何年度までにとという形ではなくて、研究を進めていく中で、この目処についてもおのずと分かってくるであろうということが1点。それから、それに関わる本審議会につきましては、教育委員会の研究の進捗を見ないと、それが無い状態で審議会を開いても議論する中身がございませんので、その進捗を見ながら必要に応じて審議会を開いていくという形になりますので、前回の審議会のように2年間で9回、何月、何月に開くといったような性格のものではないということで、年1回になるのか分かりませんが、そういう審議会の運営になるということをご理解をいただければと思います。当然、そのベースになるのは、ご質問にありましたが、校長アンケート・市民アンケートを踏まえた審議結果の答申を踏まえていくという形が基本姿勢になっていくことを考えておられるという話がございました。</p> <p>これからこの審議会につきましては、総論から各論へ、あるいは一般論から具体論へというような形に進んでいくわけですが、それだけに様々な個別の事情、あるいは生々しいご意見等々も出てくるだろうと思います。各委員の皆様方、開催の回数は少ないですが、色々なところでアンテナを張っていただいて、この案件に関する情報を収集していただければありがたいと思います。そして、審議会の場でお出しいただけるようにご協力のほうよろしくお願いいたします。</p> <p>保護者の立場から、C委員さん、いかがでしょうか。</p>
<p>C委員</p>	<p>名前にありますとおり適正化であるべき、合理化であってはならないというのが保護者の立場としての意見です。あくまで子どもの教育環境の向上を主に置いたものであってほしいし、それが行政の都合であってはならないと思います。そういうふうな適正化をしていただきたいと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。この規模適正、配置の適正云々については、合理化であるとか効率化であるとかそういったような観点ではなくて、あくまでも子どもの教育、活力ある学校という観点から適正化ということについて真摯に向き合っていきたい、あるいはいつてほしいというご意見でございました。</p>

	<p>ほかに委員さんのほうから、この機会に、このテーマに関しまして広くご意見等があったらお出してください。</p>
F 委員	<p>前の答申のときには関係なかったでしょうが、今、新型コロナウイルスということで、1クラスの人数に関する考え方等、国のほうから示されています。</p>
事務局	<p>現時点では密を避けるというのがありますが、人数的なものは出ていないというのが現状です。文科大臣のほうが何人だというのは、新聞報道ではありますが、あくまでもそれは言われているだけの話であって、法的なものでは出ていません。</p>
F 委員	<p>A委員、そしてC委員が言われましたように、学校というのは子どもたちの学びの場であると同時に、やはり地域の核となる施設でもありますので、急いで性急に答えを求めるということではなく、本当に子どもたちにとって何がいいのか、地域にとって何がいいのか、じっくりと大和郡山市の特性に合った案というのですか、そういうのを検討していただきたいという思いがしております。よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>アフターコロナを見据えまして、大学ではリモートとありますが、在宅勤務であったり、集まらなくても成立するという生き方がマスコミで言われています。極論しますと地域に学校一つも要らない、家で全部学習できるという形になってしまいます。そうではなく学校としての、特に初等教育等、年齢が小さいときは同世代の子どもが集まる重要な人間形成の場ですので、学校というのは必要不可欠な存在であるという共通認識を持った上で、適正規模というものについての追求をしていければいいかなと思います。</p> <p>いずれにしても、アフターコロナというイレギュラーな事象が起こっている中で、この適正化の問題についても少なからず影響があるだろうと思いますが、そこを慎重に審議をしてほしいというご意見だと思います。</p> <p>ほかにございませんか。</p>
E 委員	<p>質問ですが、ワーキンググループをつかってこれから調査研究を教育委員会内を中心に進めていくということですが、具体的な内容としたら、例えば適正化に関する基本的な考え方として二つ挙げられている通学区域の変更とか学校の統合とか、またほかに留意すべき事項等挙がっていますが、そういうことについて具体的に調査研究を進めていくということによろしいですか。</p>

事務局	<p>もちろんそのこともございますが、まずは言われておりますように新型コロナの環境が入ってきております。またICT環境が整備されてきております。児童生徒のほうも減ってきております。その状況はまだ目で見えていかないと分からない部分というのがございますので、それも含めまして今後検討していきたいと考えております。</p>
会長	<p>ワーキンググループについては、テーマごとに1グループとか、まだそこまでも計画はないのですね。そんなにたくさん人員がそろっているわけでもない。</p>
事務局	<p>そうですね、それもまだ具体的にはイメージしていないので、これから検討していきたいと思っております。</p>
会長	<p>教育委員会の中でのワーキンググループですね。</p>
事務局	<p>はい。中でというふうに考えております。</p>
会長	<p>ワーキンググループについては教育委員会内に設けて、答申にあります通学区域の変更、学校の統合、あるいはその他留意事項等々にありますが、小中一貫校等々新しい形態の学校も含めて、色々な面から調査研究に取り組んでいくという方向性ですが、ワーキンググループの具体像も現時点では未定というふうに審議会では理解しておいていいですか。</p> <p>それでは、審議会のほうとしては、教育委員会のほうでワーキンググループを設けて、これから基本計画の策定に向けて具体的に組み込んでいくという方向性を示していただいたということで受け止めたいと思います。委員の皆さんもそれでよろしいでしょうか。</p>
全委員	<p>はい。</p>
会長	<p>ほかにもございませんか。</p> <p>市のほうでは総合計画は5年とか10年とかというようなスパンで設定しているが、それも具体的に数字がないようですので、考えてみましたら、これはずっとエンドレスで毎年検討していかなければならない内容かも分からないわけです。じっくりと丁寧に検討していったほしいというご意見もございましたので、そのペースで、たとえば歩みは遅くとも着実に進めていければなと思います。それが子どもの教育の向上につながる、学校の活性化につながるという大前提の下に委員の皆様のご意見等を幅広くお出しただければと思います。</p> <p>それでは、全般ございませんか。</p>

事務局	<p>本日は審議会を立ち上げたということで、教育委員会のほうから個別具体の提案、報告がございませんので、今後の方向性についての確認ということにしておきたいと思います。</p> <p>ないようでしたら、本日の最終の案件、その他についてです。事務局のほうから説明をお願いいたします。</p> <p>先ほどご意見をいただいた内容を踏まえまして、今後、慎重かつ丁寧に調査研究を進めてまいりたいと思います。また、先ほども申し上げましたが、調査研究の内容につきましては、必要に応じて審議会に報告をさせていただき、ご意見をお伺いできればと考えております。開催時期は未定ですが、別途日程調整いたしますので、その際はよろしくをお願いいたします。</p> <p>事務局からは以上です。</p>
会長	<p>それでは、本日の案件につきましては全て終了いたしました。</p> <p>一応締め挨拶をさせていただきます。</p> <p>これから、先ほど申し上げましたように市教委のほうを中心となって調査研究を進めていくこととなります。委員の皆様には、これまでから新聞等々で、県内でも色々なところの市町村でこの学校規模の適正化、あるいは学校配置の適正化について取組をなさっていたり、現在進行形であったり、これからであったりといったような、様々な報道がなされております。他市町村の取組も参考にしながらですが、大和郡山市としての実情に即した形でこの課題に取り組んでいければと思います。今後こういった形でこの計画がまとまっていくのかは、今のところ全く分かりませんが、今後ともこうした課題に対しまして委員の皆様方には幅広い問題意識を持っていただき、色々な知見を幅広く出していただく、そういうご協力をお願いしまして、終わりの挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>

令和 年 月 日

大和郡山市学校規模適正化等審議会
会長